クリナップ® 施工説明書

適応機種
ステンキャビキッチン 木キャビキッチン(クリンウッドシリーズ)
吊戸棚
アイエリア吊戸棚

この施工説明書は、商品を正しく施工していただくための手順や方法・注意事項について記載したものです。施工にあたっては内容を確認しながら、確実で安全な施工をお願いします。

安全上のご注意（必ずお守りください）

●工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。

●表示内容を無視して誤った施工をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。
⚠ 注意	この表示の欄は、「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

●お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。

	このような図記号は、商品の取り扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。
	このような図記号は、商品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

●施工完了後は、各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。

●本体に同梱されている取扱説明書などは、お客様にお渡しする大切な書類です。
紛失や汚れが生じないように大切に保管し、施工完了後、お客様にお渡しください。

⚠ 警告

◎吊戸棚などの商品の施工は、建築壁の構造を確かめて、この施工説明書のとおり正しく行ってください。施工を誤ると、使用中に取付ねじがゆるみ、吊戸棚などが落下して、けがをするおそれがあります。

◎配線・配管工事は、関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者」が行ってください。
接続や固定が不完全な場合は、火災の原因になります。

W102315000

安全上のご注意（必ずお守りください）

⚠ 注意

◎当社商品に使用する材料や接着剤などは、JIS、JASまたは国土交通大臣の認定を受けたF☆☆☆☆の材料を使用しています。そこで、施工時に使用する下地桟、接着剤、塗料などについても、F☆☆☆☆レベルのものをお選びください。ホルムアルデヒド発散量の多い下地桟、接着剤、塗料などを使用すると、室内のホルムアルデヒド濃度を高めることになります。

◎棚板を設置するときは、棚受けダボをすき間のないよう根元まで確実に差し込んでください。棚板が外れ、収納物が落下してけがをするおそれがあります。

◎調理機器を設置する場所には、建築基準法や電気設備技術基準・火災予防条例に定める防火処理を施す必要があります。

◎照明器具は、修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。発火したり、異常作動したりしてけがをすることがあります。

◎照明器具の電気部品に水をつけたり、水をかけたりしないでください。ショート・感電のおそれがあります。

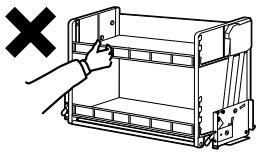
◎照明器具は、使用中や使用後は、内部が熱いので触らないでください。やけどのおそれがあります。

◎照明器具は、長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカーを切ってください。

◎照明器具は、交流100V以外では、使用しないでください。火災・感電の原因になります。

◎ムーブダウン吊戸棚のラック部は不燃材料ではないので、調理機器との離隔を十分にとって設置してください。離隔距離は機器の説明書をご覧ください。

◎ムーブダウン吊戸棚の収納ラックの落下防止バーや高さガイドバーを持たないでください。外れたり、曲がったりするおそれがあります。



◎工事完了後、扉の傾き、ガタつき、丁番（ちょうばん）のゆるみがないことを必ず確認してください。扉の取り付けに異常があると、使用中に扉が落下して、けがをするおそれがあります。

◎キャビネットどうしの連結や建築壁への固定などの際は、固定ねじや工具で配線や配管をきずつけないように十分に気をつけてください。

組込機器類

◎キッチンに組み込む電気製品・調理機器・レンジフード・水栓・その他の機器については、それぞれの商品の施工説明書や商品本体の注意表示を必ずご覧になり、正しい施工を行ってください。施工を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になるおそれがあります。

洗剤類

◎施工や仕上げ工事に使われる溶剤・接着剤・洗剤・その他の薬品類については、容器などに記載の注意表示に従って、正しくお使いください。
誤った使い方をすると、人体に悪影響を及ぼしたり、商品の損傷や劣化の原因になります。

きず防止のお願い

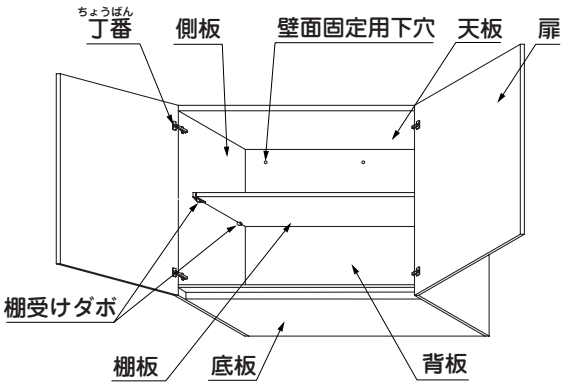
●ダンボールや厚手の毛布で、流し台やワークトップの上を十分に保護してから作業を開始してください。

●ダンボールを開いたり動かしたりするときは、床や商品にきずをつけないように養生(ようじょう)してください。

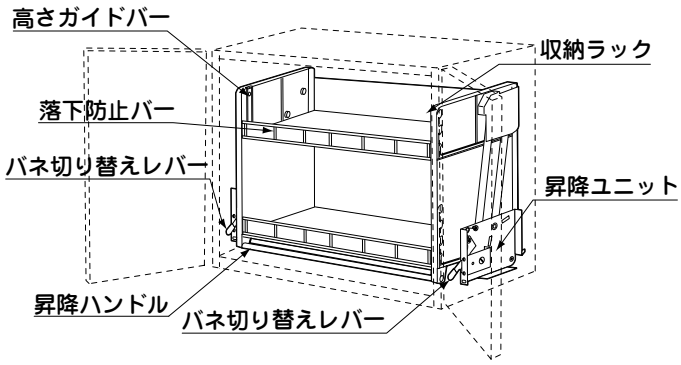
施工例と各部のなまえ

■吊戸棚

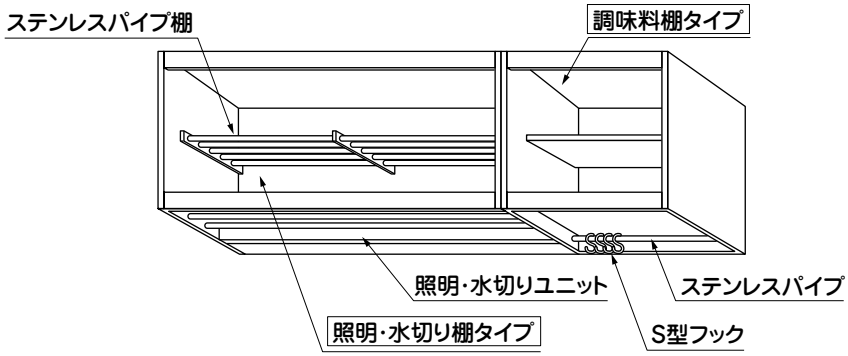
〈通常の吊戸棚〉



〈ムーブダウン吊戸棚〉



■アイエリア吊戸棚



付属部品表

●下記の付属部品が同梱されていますので、確認してください。

間口 ＼ 部品			壁固定ねじ(5×55)	ジョイントねじ(4×28)	ジョイントキャップ	水切りカバー	水切り棚	S管
吊戸棚	150/300/350/450/600		3本	ー	ー	ー	ー	ー
	750/900/1000/1050		5本	ー	ー	ー	ー	ー
	1200/1350/1500/1650/1800		6本	ー	ー	ー	ー	ー
	コーナー		8本	ー	ー	ー	ー	ー
	ムーブダウン	600	5本	ー	ー	ー	ー	ー
		900	7本	ー	ー	ー	ー	ー
アイエリア吊戸棚	調味料棚タイプ	300/450/600	3本	5本	8コ	ー	ー	6コ
		コーナー	7本	6本	13コ	ー	ー	6コ
	照明・水切り棚タイプ	900	5本	6本	11コ	1枚	1枚	ー

建築壁について

●付属の壁固定ねじは、木質材（下地桟）に使用するためのものです。
建築壁には、必ず下地桟を取り付けてください。

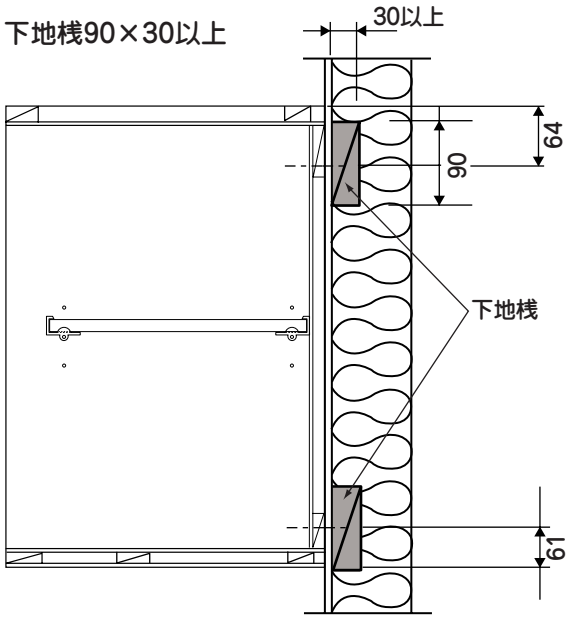
●下地桟は、マツ、ヒノキなどの強度のある材で、虫食い・腐れ・抜け節のないものを使用してください。
厚さ30㎜以上、幅90㎜以上が必要です（合板の場合は、厚さ12㎜以上の耐水合板などを使用してください）。

●吊戸棚の機種によって壁固定位置が異なります。
P.7の「4吊戸棚・アイエリア吊戸棚の取り付け」を参考に下地桟を取り付けてください。

●以下に建築壁別の下地桟を取り付けた固定方法を例示します。

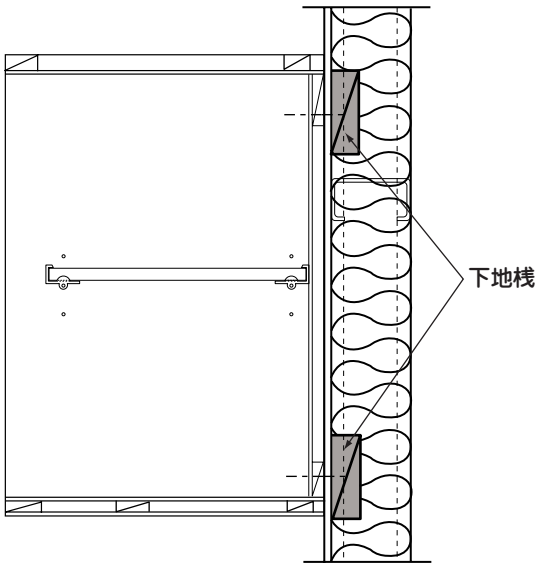
木質壁

下地桟90×30以上



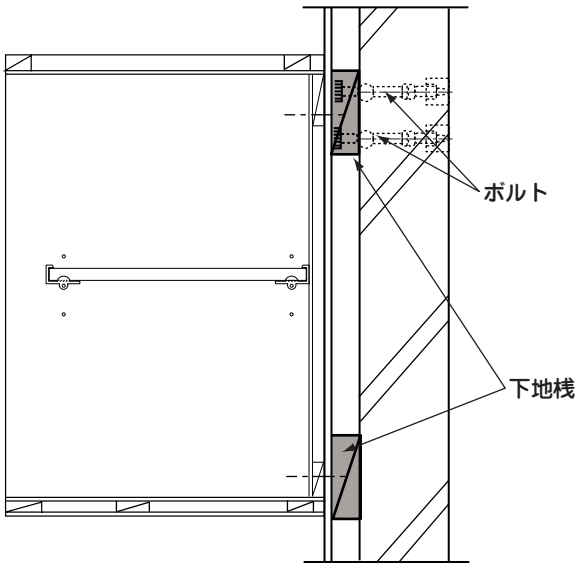
軽量鉄骨壁

下地桟90×30以上



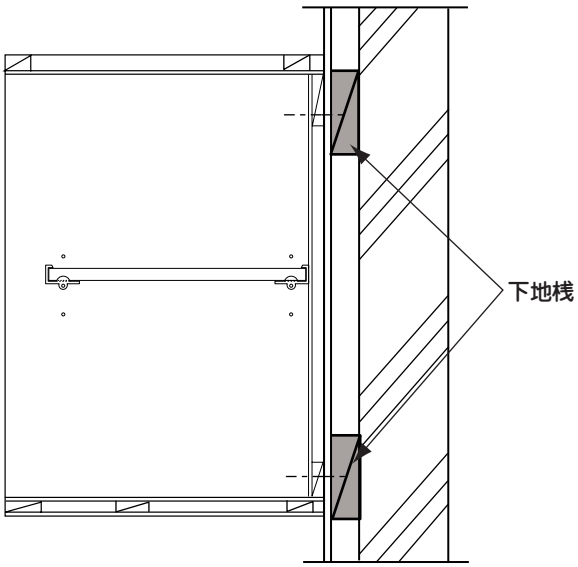
ALC壁

下地桟90×30以上
ボルトφ9@600乱取り付け



RC壁

下地桟90×30以上



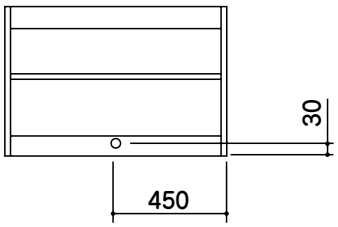
事前準備

〈アイエリア吊戸棚（照明・水切り棚タイプ）を設置する場合〉

◎配線工事は、関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者」が行ってください。
接続や固定が不完全な場合は、発煙や火災の原因になります。

●下図の位置の壁面から電源を取り出してください。

〈アイエリア吊戸棚（照明･水切り棚タイプ）〉



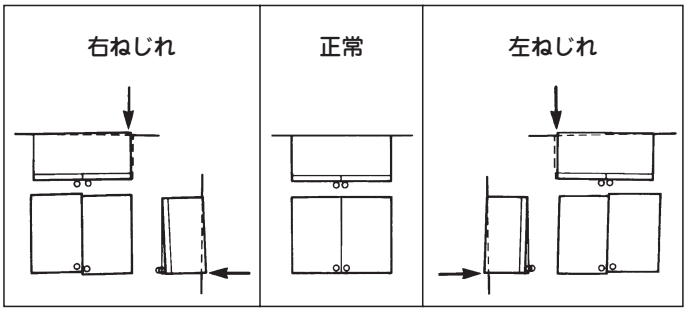
施工方法

1 下準備と確認

●施工図面を基に、次の事項を必ず確認してください。
確認によって補充工事が必要なときは、施工に入る前に工事を依頼してください。

- 壁・床・天井の直角な交わりと水平・垂直を､下げ振り・水準器・水盛り管などで確認してください。
10㎜以上の誤差は仕上げに支障が出ますので、再工事を依頼してください。
- 壁面や天井の指定位置に下地桟があるか、確認してください。
- 下地桟の寸法・強度・材質、それにかかわる壁面が適切か、確認してください。
- 指定した位置に適切な容量のコンセントやその他の電気設備があるか、確認してください。
- 床の幅木・天井の回り縁などが設置に影響しないか、確認してください。
- ダンボールを開いたり動かしたりするときは、床や商品にきずをつけないように養生(ようじょう)してください。
- ダンボールや厚手の毛布で､ワークトップや商品全体を十分に保護してから作業を開始してください。
- 施工に入る前に、商品名・機種・色・数・寸法などに間違いがないか、確認してください。

●建築壁の表面を平らにしてください。
壁面に凸凹があると扉が段違いになり、仕上げに支障が生じます。
凸凹がある場合は、右図のように“当て木”で支えるなど、事前の補修を行ってください。



施工方法

2 扉・棚板などの取り外し

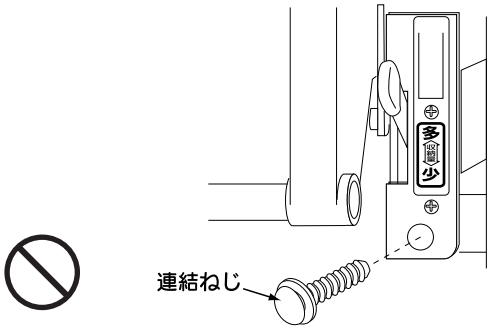
⑴吊戸棚から扉・棚板・水切り棚を取り外してください。
外した扉・棚板・水切り棚は、安全なところに保管してください。

※扉の外し方は、P.8「5 扉の取り付け・調整」を参照してください。

※棚板の外し方は、P.9「6 その他の部品の取り付け・調整」を参照してください。

⑵〈ムーブダウン吊戸棚〉は収納ラックを取り外してください。

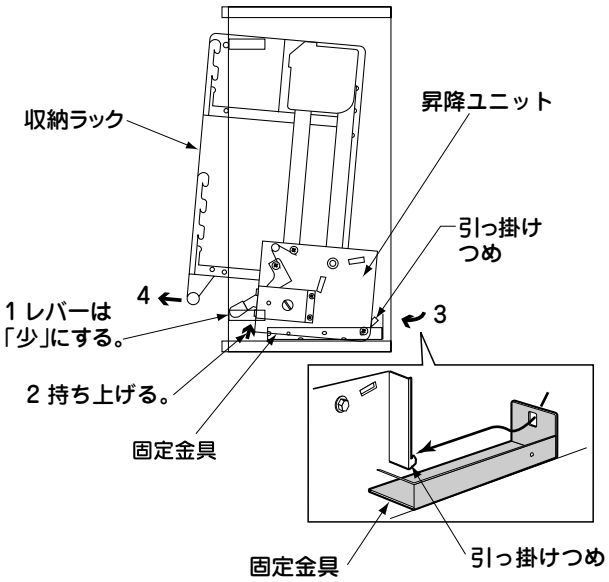
◎電気ドライバーは使用しないでください。
収納ラックや点検口をきずつけたり、ねじ山を損傷したりするおそれがあります。



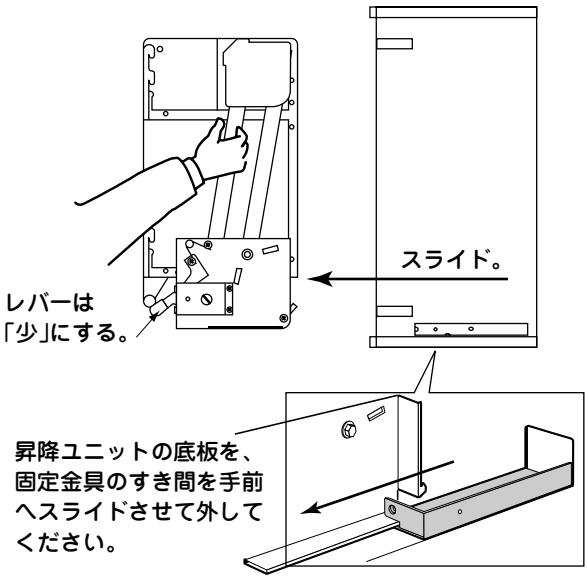
〈ムーブダウン吊戸棚の場合〉

①左右の連結ねじを外してください。
このとき、レバーをいったん「多」の方へ上げてください。ねじが外しやすくなります。

②レバーを「少」の方へ下げます。
昇降ユニットの前部を持ち上げ、引っ掛けつめを固定金具から外します。
収納ラックを少し手前へ引き出します。



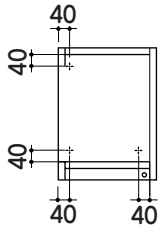
③収納ラックを手前へスライドさせて、吊戸棚から外してください。
外した収納ラックは安全なところに保管してください。
作業は2人で行ってください。



施工方法

3 吊戸棚どうしの連結（アイエリア吊戸棚の場合のみ）

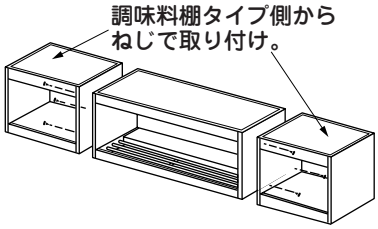
〈ねじ止め参考位置〉



⑴下穴加工

連結する一方の吊戸棚の側板に、右図の〈ねじ止め参考位置〉からドリルでφ3程度の下穴を開けてください。
照明・水切り棚タイプと調味料棚タイプを連結する際は、調味料棚タイプに下穴を開けてください。

⑵吊戸棚どうしの連結

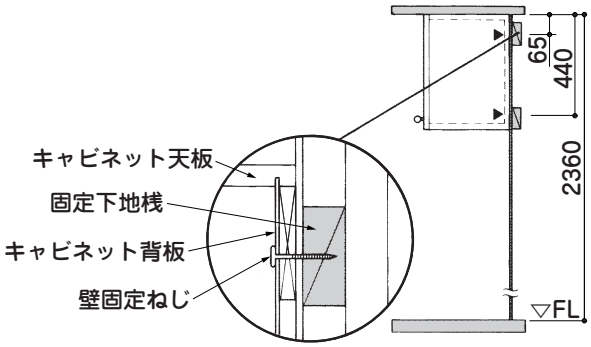


床の上で連結する吊戸棚どうしを面合わせして、⑴で開けた穴から、付属のジョイントねじ（4×28）で吊戸棚間にすき間がないように連結してください。
次に、ジョイントねじの頭に、付属のジョイントキャップを取り付けてください。

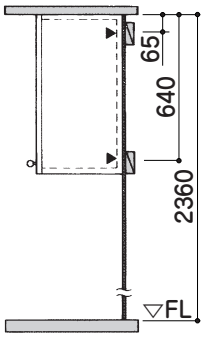
4 吊戸棚・アイエリア吊戸棚の取り付け

▶：取り付け位置

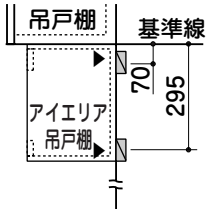
〈ショート吊戸棚〉



〈ミドル吊戸棚〉

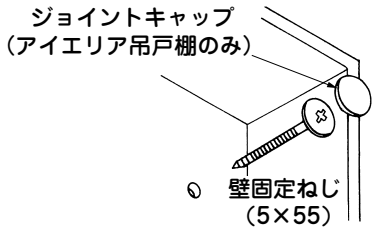


〈アイエリア吊戸棚〉



●複数の下穴をすべて埋めるように、ねじを残さず使用して固定してください。
壁固定ねじの使用数が少ないと、長期の間には落下をまねくおそれがあります。

●吊戸棚の内側の背板の上下に複数の下穴が開いています。この下穴から、壁固定ねじで建築壁の下地桟に固定してください。

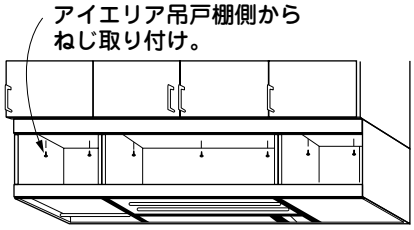


⑴所定の位置へ持ち上げてください。

⑵背板にある下穴に合わせ、建築壁の下地桟にφ3.5（深さ25㎜程度）の下穴を開けてください。

⑶下穴から、付属の壁固定ねじ（5×55）を使い、建築壁の下地桟に固定してください。
ねじの頭が折れないように注意しながら、確実に固定してください。

◎締めすぎると、ねじの頭が折れる可能性があるので注意してください。



⑷アイエリア吊戸棚は、天板から吊戸棚にジョイントねじ（4×28）で連結してください。

施工方法

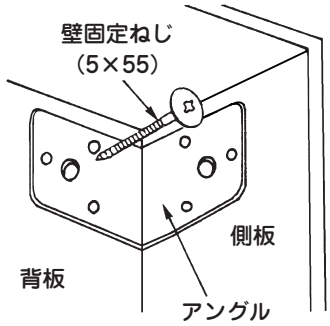
4 吊戸棚・アイエリア吊戸棚の取り付け（つづき）

⑸吊戸棚・アイエリア吊戸棚と壁の間にすき間がある場合は、「1 下準備と確認」P.5参照）に準じ、“当て木”で支えるなどして、ねじ締め付け時にキャビネットがゆがまないようにしてください。

⑹アイエリア吊戸棚は、ねじの頭に、付属のジョイントキャップを取り付けてください。

〈ムーブダウン吊戸棚の場合〉

吊戸棚・アイエリア吊戸棚の取り付けと同様に、建築壁の下地桟に下穴を開け、壁固定ねじ（5×55）で固定してください。ねじの頭が折れないように注意しながら、確実に固定してください。



◎上部両側の2ヵ所はアングルと一緒に、下部は下穴から壁固定ねじで建築壁の下地桟に固定してください。

◎締めすぎると、ねじの頭が折れる可能性があるので注意してください。

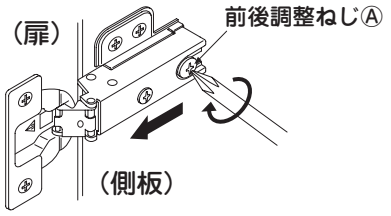
間口	上部固定箇所	下部固定箇所
W900	アングル2ヵ所、下穴3ヵ所	下穴2ヵ所
W600	アングル2ヵ所、下穴2ヵ所	下穴1ヵ所

5 扉の取り付け・調整

●扉を取り付け、調整してください。

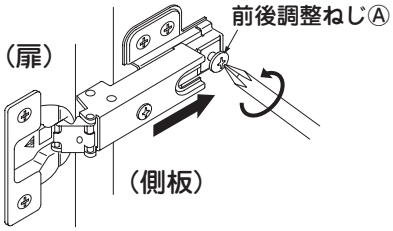
●扉の取り外し

前後調整ねじⒶをゆるめ､扉を手前に引いてください。



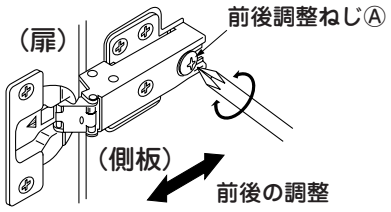
●扉の取り付け

取り外したときの逆の手順で取り付けてください。



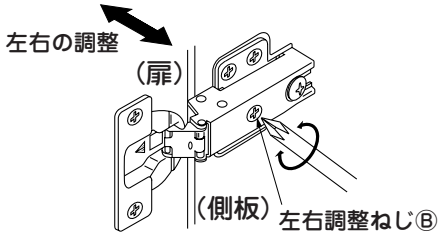
●前後調整

前後調整ねじⒶをゆるめ、扉の前後を合わせた後、再び前後調整ねじⒶをしっかり締め付けてください。扉が前後に動かない場合は、左右調整ねじⒷを少しゆるめてください。



●左右調整

前後調整ねじⒶを締めたまま調整してください。左右調整ねじⒷを反時計回りに回すと側板と扉の間隔は狭くなり、時計回りに回すと側板と扉の間隔は、広くなります。
調整終了後、必ず前後調整ねじⒶをしっかり締め直してください。



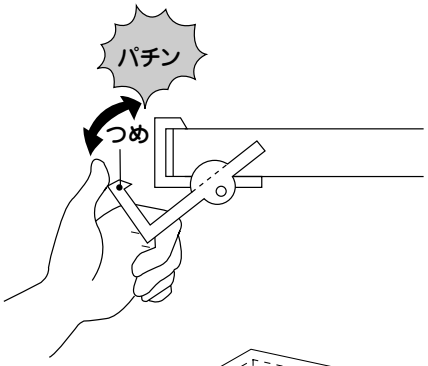
施工方法

6 その他の部品の取り付け・調整

●棚板の取り外し方

⑴前側の左右の棚受けダボのつめ部分を、棚板を押さえながら、“パチン”と音がして外れるまで手前へ強く引いてください。

⑵棚板を前へ引いて取り外してください。



●棚板の取り付け方

⑴右図のように、棚受けダボを棚受けダボ穴に根元まで差し込んでください。

※幅の大きい棚板は、キャビネット背板の中央部分にも棚受けダボがあります。

※差し込みが浅いと、棚板が棚受けダボの抜け防止の突起部分にあたり、棚受けダボが破損するおそれがあります。

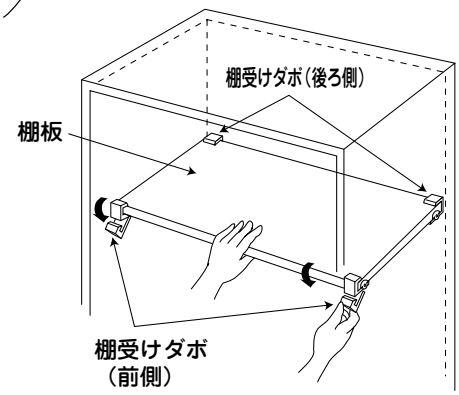
※棚板をセットするときは、棚受けダボにある「抜け防止の突起」を変形させないでください。
棚板のガタつきの原因になります。

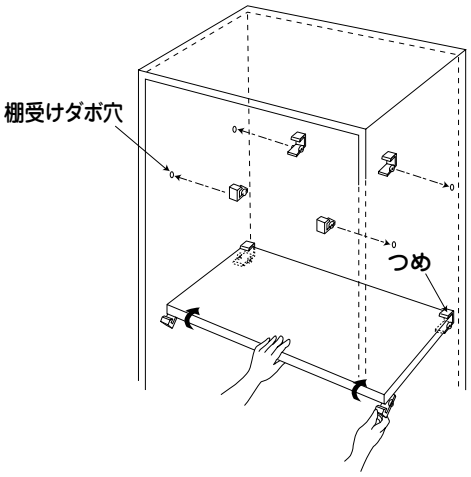
⑵まず、後ろ側の棚受けダボのつめに棚板をしっかりとはめ込んでください。

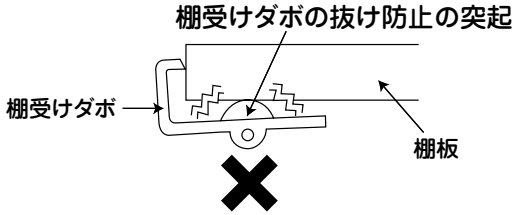
⑶棚板を押さえながら、前側の棚受けダボを下から強く押し上げてください。
つめが棚板にはめ込まれ、“パチン”という音がするまで押し上げてください。

⑷棚板にガタつきがないか、確認してください。

※ガタつきがある場合は、再度取り付け直してください。







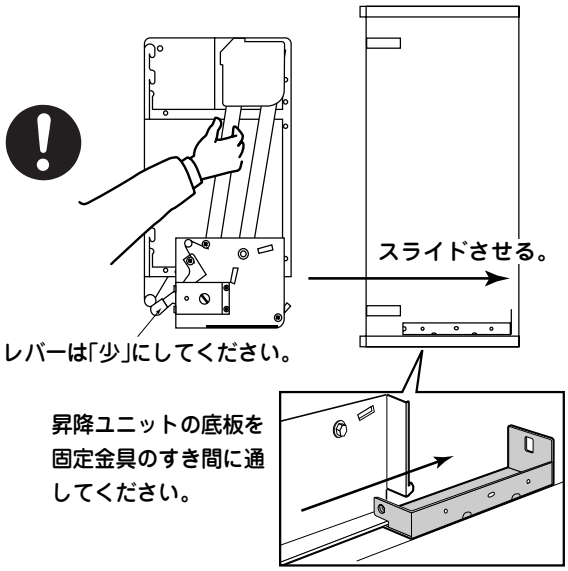
施工方法

6 その他の部品の取り付け・調整（つづき）

●収納ラックの取り付け〈ムーブダウン吊戸棚の場合〉

◎必ず扉を取り付けてから、調整を行った後、ラックの取り付けを行ってください。
ラックを取り付けた後では、丁番（ちょうばん）の調整ができません。

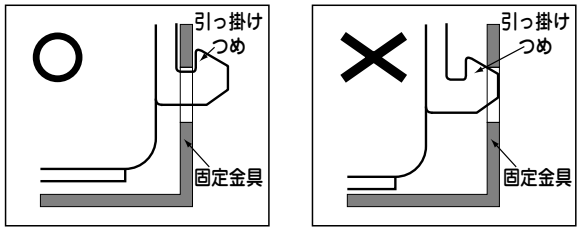
⑴収納ラック全体を、吊戸棚の中へスライドさせて、入れてください。

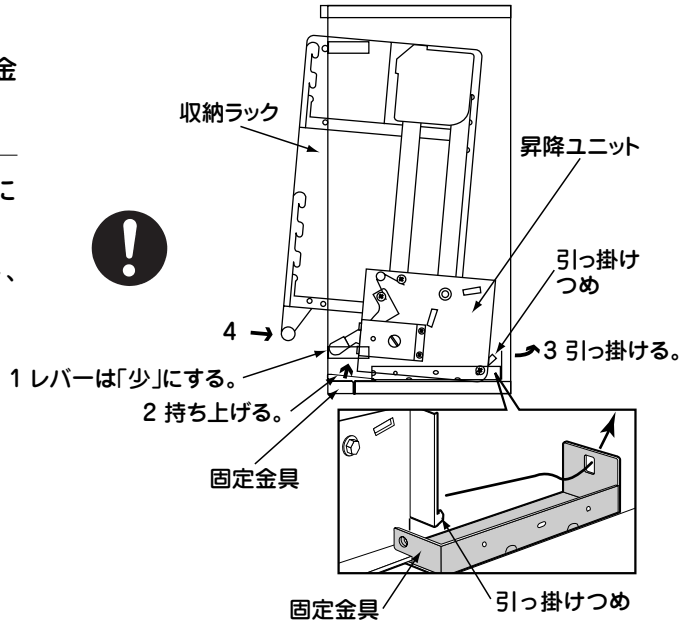


⑵収納ラックを少し手前へ引き出します。

⑶昇降ユニットの前部を持ち上げ、引っ掛けつめを固定金具の穴に差し込みます。

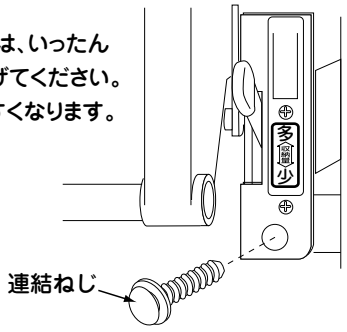
◎収納ラックを取り付けるときは、引っ掛けつめを確実に固定金具の穴に差し込んでください。
差し込みが不完全な場合は、収納ラックが変形・落下し、けがをするおそれがあります。



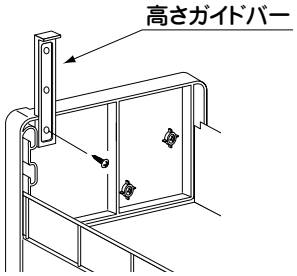


⑷引っ掛けつめが確実に固定金具に掛かったことを確認し、吊戸棚の中心に収納ラックがくるように左右の空間を調整して、「2 扉・棚板などの取り外し」（P.6参照）で外した連結ねじで左右とも固定してください。

●このときレバーは、いったん「多」の方に上げてください。
ねじが止めやすくなります。



⑸高さガイドバー（左右計2本）を吊戸棚の高さ（内寸法）に合わせて調整してください。
ねじを外して、高さガイドバーの高さを調整し、再度ねじを締めてください。



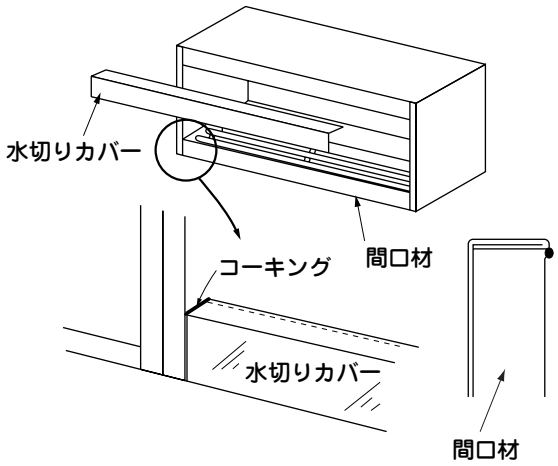
施工方法

6 その他の部品の取り付け・調整（つづき）

●水切りカバーの取り付け（照明・水切り棚タイプアイエリア吊戸棚の場合）

⑴照明・水切り棚タイプに、水切りカバー（ステンレスのL字板）が入っています。両面テープの裏面のはくり紙をはがし、浮きのないようにしっかり張ってください。その際、幕板の前面にステンレス面がくるように取り付けてください。

⑵コーキングをします。
右図のように、水切りカバーとキャビネットとの接合部をコーキングしてください。

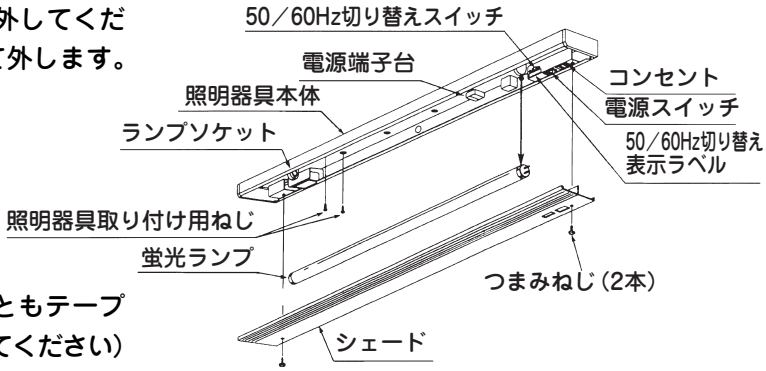


7 照明器具の取り付け・配線

●照明の配線工事

◎配線工事は、関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者」が行ってください。
接続や固定が不完全な場合は、発煙や火災の原因になります。

⑴照明器具のつまみねじを外して、シェードを外してください。シェードは後部を回転させるようにして外します。



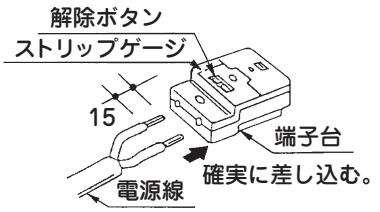
※蛍光ランプを外して作業してください。

⑵蛍光ランプを外してください。
（蛍光ランプは出荷時、脱落防止のため両端ともテープで止めてありますので、忘れずにテープも外してください）

⑶電源線を電源穴から照明器具内に引き込んでください。

- 電源線はφ1.6～2.0㎜のものをお使いください。
- 電源線の被覆（ひふく）を15㎜くらいむいてください。

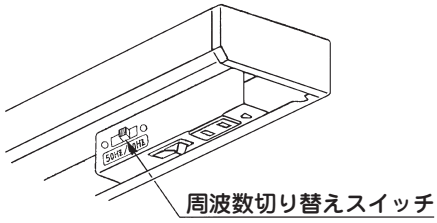
⑷電源線を電源端子台に接続します。



- 電源線を電源端子台に確実に差し込みます。
（念のため、一度引っ張って確認してください）
照明器具内で電線がたるまないように、あらかじめ切ってから接続してください。

※接続が不完全な場合は、感電・火災の原因になります。

⑸照明器具の周波数を合わせてください。
蛍光ランプの電源周波数は、出荷時50Hzになっています。
60Hz地区では、60Hzに合わせてください。



⑹蛍光ランプを取り付けてください。

⑺シェードを外した逆の順序で本体に取り付けてください。

※取り付けが不完全な場合は、落下の原因になります。

施工方法

8 施工後の確認

●次の事項をしっかり確認してください。

- ●背板の下穴がすべて壁固定ねじで固定されているか、確認してください。
- ●棚板がしっかり載っているか、確認してください。
- ●繰り返し扉を開閉し、確実に丁番（ちょうばん）で固定されているか、確認してください。
- ●キャビネット間・部材間にすき間やガタつきがないか、確認してください。
- ●丁番で扉の段違いを調整してください。また、扉面がキャビネットと平行になるように調整してください。
- ●ねじの頭などにつけるキャップ類が抜けていないか、確認してください。
- ●ムーブダウン吊戸棚は、収納ラックを取り付けた後、確実に昇降ユニットと固定金具が固定されているか、確認してください。
  レバーを左右とも「少」にして、収納ラック内に約20～40N（約2～4kg）のおもりを入れ、収納ラックの出し入れを行ってください。
- ●取っ手、丁番などのねじにゆるみがないか、確認してください。
  ねじにゆがみがある場合は、⊕ドライバーで締め付けてください。電気ドライバーは、使用しないでください。
- ●排水トラップ、排水管、防臭キャップなどがしっかり取り付けられているか、確認してください。
- ●水を流し、排水トラップ、排水管、防臭キャップなどから水漏れがないか、確認してください。
- ●水を流すことで排水トラップに封水ができ、排水管からの悪臭・有毒ガスの流入を防ぐことができます。
- ●ぬれたシンク内の水滴は、きれいにからぶきしてください。
- ●吊戸棚・キャビネットの清掃を行ってください。

工事後の整理など

●工事終了後も、商品には、必要なカバーをするなどして保護してください。

●不要なダンボールや廃材は、排出事業主（元請け）の指示に従い適切に処理願います。

●火気や薬品類の始末には、特に気をつけてください。

●水栓が閉まっていることを確認してください。

廃棄処分について

●不要部材を廃棄処分する場合は、必ず公的な許可を受けている処理業者にご依頼ください。

施工にあたってご不明な点や、お気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店
または当社支店・営業所までご連絡ください。

住まいの夢を創る
クリナップ株式会社
東京都荒川区西日暮里6-22-22 〒116-8587 TEL03（3894）4771

0806A-12-01